

専任の先生と学生との対話 小林秀行

新入生を迎えるにあたってある一人のたわごと

医学部学生 小林 秀行



新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。毎年毎年変更の続く入試制度の中、大変だったでしょうが、とりあえず一つの目標を達成してほっと肩をなでおろし、また次なる目標に向かって決意を新たにしていることと思います。

さて堅苦しいあつさつはこれぐらいにして、これから大学生活を始める人に、いちおう先輩ということでもなにか書いておこうかなと思います。(こんなことするほど偉くもなんともないのになあ。)

一人一人の目標って内容は違っても、とても大切なものだから達成するまではなくさないようにしてほしいし、達成できるように努力してほしい。大学というところは本人の心がけ次第でどういう場所にでもなってしまうからね。しっかりとした意志を持っていないと周りに流されてしまうし、たとえ流されてもそれを注意してくれる人なんてごくまれにしかいない。(高校みたいに担任なんていう人がいない。)特に下宿をしようとしている人は要注意だよ。これは経験者からの忠告と受け取ってもらえればいいと思う。でも、反対に勉強ばかりしていてもこれはかなり問題があるといわざるを得ない。大学入りたてで勉強に励む人はそう多くはないと思うけど一般教養というのは勉強というよりは高校時代からの暗記詰め込み勉強の続きであり役には立たない。あんなものに力を入れるよりはバ

イトをしたり、本を読んだり、体鍛えたり、友達、恋人を作ったり、尊敬できる先輩(教授でも学生でも)を持ったりした方が数段自分のためになる。

また大学っていうところは不思議な所で、せっかく医学部総合薬学科に志望して入ってきて2年生までは薬学の専門のことはほとんど教えてくれないし、3年生にならないと実習もないから薬学科にどんな研究室があってどんな研究をしているのかさえよくわからない。だから、1年生でも興味があるならどんどん各研究室に遊びに行った方がいいと思うよ。親切な諸先輩方がいやな顔一つも見せず本当に親切にいろいろと教えて(おそらくね)くれます。

何か薬学科のことばかり書いてしまったようだけど、これはどの学部、学科についても言えることだと思う。1年も2年も何もしないでいると自分のやりたい事への興味も薄れてしまいがちだから、どんどん自分から求めていくべきだ。そのためには、先生や先輩につながりを持つようにした方がいいのでは?

とにかく、みんなはもう大学生なんだから、これから何をするのかを自分でしっかりと決めてそれに向かって突き進んでほしいと思います。人に言われたとおりのことをやってもおもしろくないでしょ。(と、書きつつ自分に対する教訓みたいになってしまった…)

最後にみんなの大学生活が一人一人にとって実りのある、そして素敵なものとなることを祈って…、さあ清書だ。(本当にもう!テスト前だっていうのに…ブツブツ。)